

直売所はなぜいいの？

生産者の顔が見えるから安心

新鮮な旬の食材を食べることができる

フードマイレージ（食料の輸送量 × 距離）が少ないため自然環境にやさしい地域のものを消費することで地域経済が循環し、活発になる。



小平の果樹について

小平ブルーベリー

東京農工大学の故・岩垣駿夫（はやお）教授が、初めて日本の気候に適したブルーベリーをアメリカから取り寄せて栽培し、実家が農家である教授の教え子にその情熱を託しました。

昭和43年に大きな消費地に新鮮な生のブルーベリーを供給できる土地として最適な小平市にブルーベリーの木が植えられ、日本で初めて農産物としてブルーベリー栽培が始まりました。



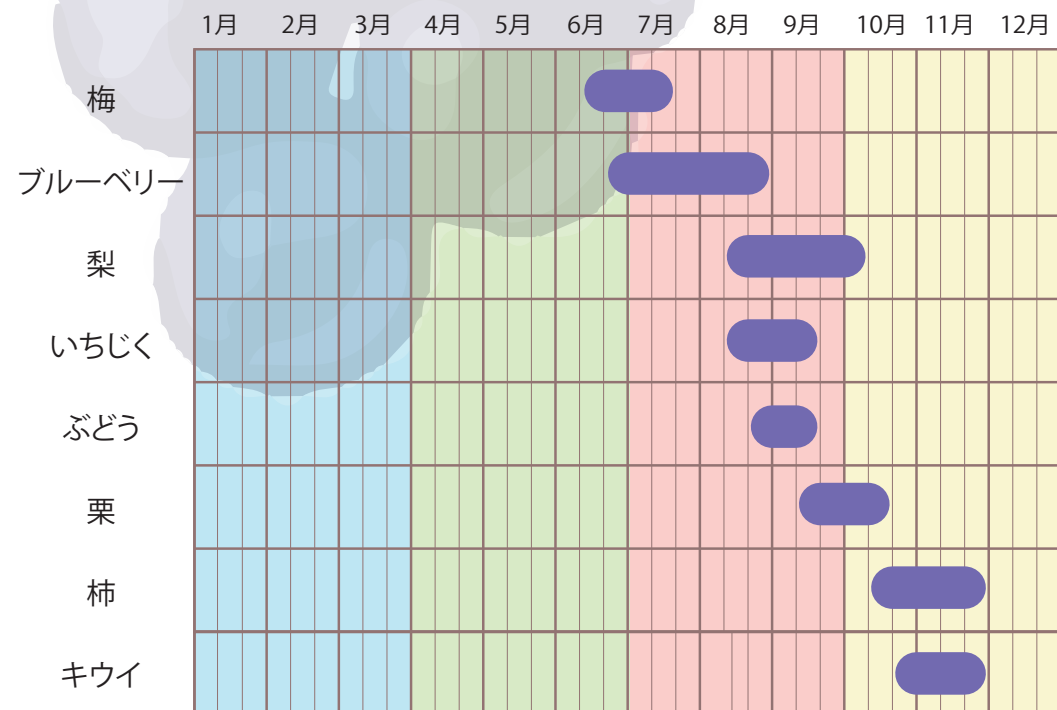
東京ゴールド

東京ゴールドはキウイフルーツの一品種です。小平市の農家で発見され、平成25年7月に農林水産省の品種登録が行われました。果実は、果肉が鮮やかな黄色であること、また縦に切った時にハート型であること、そして甘みが強く、程よい酸味があることが特徴です。



果樹類の旬について

市内ではブルーベリーをはじめ、ぶどう、梨などの農家こだわりの果樹が育てられています。宅配での販売を行なっている農家もありますが各農家の直売所にしか並ばないものもあります。



野菜類の旬について

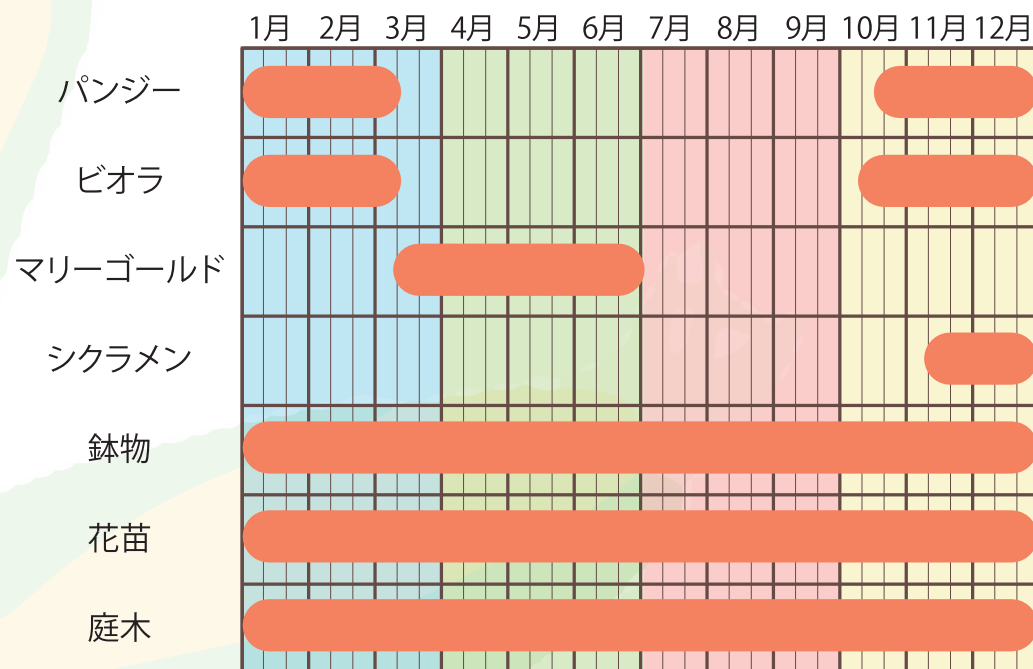
市内の直売所には季節に合わせた旬の野菜が並びます。
直売所に並ぶ野菜は美味しい時期のものとなっています。



3

花き類の旬について

市内には花き類や庭木、野菜苗を専門に栽培している農家もあります。
平成29年にはインパチェンス（苗）の生産量が都内1位、トルコギキョウ（切り花）の生産量2位、パンジー・ビオラ（苗）の生産量4位など都内でも有数の花の産地となっています。

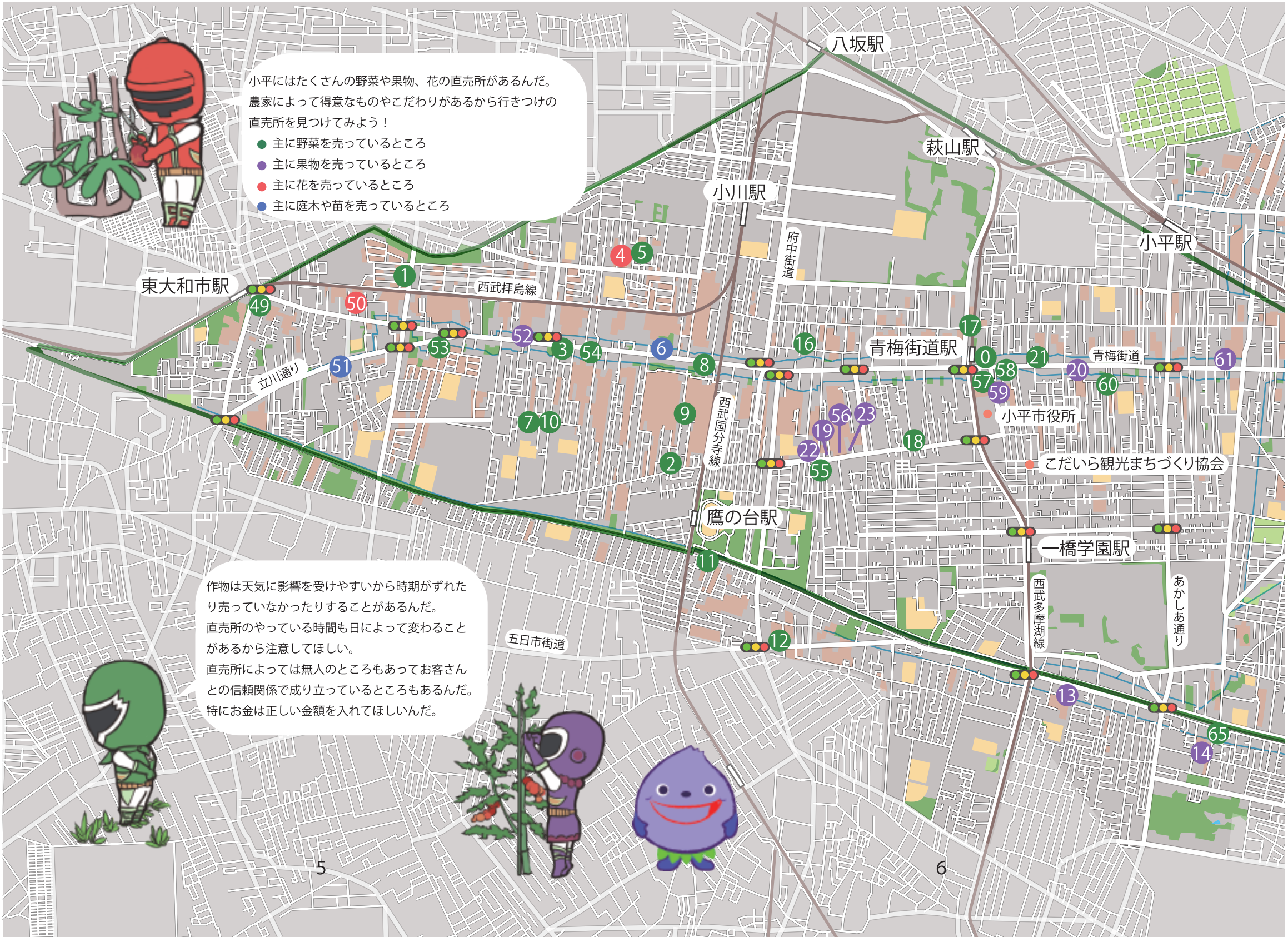


農産物の即売会

市内のイベントでは、農家が直接農作物を販売する「即売会」を行うことがあります。



4



小平にはたくさんの野菜や果物、花の直売所があるんだ。
農家によって得意なものやこだわりがあるから行きつけの直売所を見つけてみよう！

- 主に野菜を売っているところ
- 主に果物を売っているところ
- 主に花を売っているところ
- 主に庭木や苗を売っているところ

作物は天気の影響を受けやすいから時期がずれたり売っていなかったりすることがあるんだ。
直売所のやっている時間も日によって変わることがあるから注意してほしい。
直売所によっては無人のところもあってお客さんとの信頼関係で成り立っているところもあるんだ。
特にお金は正しい金額を入れてほしいんだ。



5

6